

2022 春闘速報

石狩地域2022春季生活闘争闘争委員会

2022年 6月 7日発 第14号 発行責任者 吉田賢一 Tel011-210-1212 Fax011-210-1213

中小組合の健闘が明らかに！

～2022春季生活闘争 第6回回答集計について～

連合本部は、5月31日（火）時点で取りまとめた賃上げ状況の第6回回答集計結果を発表しました。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した、5,081 組合中 4,356 組合が妥結済み。うち賃金改善分を獲得した組合は 1,831 組合・42.0%で、2014 闘争に次いで高い水準を維持している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した組合の加重平均は 6,049 円・2.09%（昨年同時期 816 円増・0.30 ポイント増）で、うち 300 人未満中小組合の加重平均は 4,857 円・1.97%（同 526 円増・0.23 ポイント増）となった。
賃上げ分が明確に分かる組合の賃上げ分は 1,862 円・0.63%、うち中小組合は 1,771 円・0.72%となり、前回集計の水準を上回るとともに、すべての規模区分で昨年同時期を上回った。中小組合は額・率とも賃上げ分の集計を開始した 2015 闘争以降で最も高く、中小組合の健闘ぶりを示している。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で時給 23.75 円（同 2.51 円増）・月給 3,989 円（同 229 円減）、引上げ率は概算でそれぞれ 2.32%・1.85%となり、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けて数多くの取り組みがなされているが、とりわけ勤務間インターバル制度の導入／向上、均等・均衡待遇実現、60 歳以降の処遇のあり方への対応、男性の育児休業取得促進は昨年同時期を超える要求／回答・妥結件数となっている。

連合北海道が、5月31日（火）時点で取りまとめた賃上げ状況の集計結果は以下のとおりです。

- 集計可能組合 147 組合・42,734 人における回答妥結額（加重平均）は、5,271 円・2.00%（同 27 円増・0.05 ポイント増）となった。
- 300 人未満では、昨年同時期比で 884 円増・0.46%増となった。
- 時間給労働者の妥結組合数は 16 組合で引き上げ額は加重平均で 24.42 円、平均時給（加重平均）は 1,000.42 円となった。

【組合規模別賃上げ状況 2022年 5月31日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨年比
300人未満	116 組合	11,694 名	4,610 円 (2.05%)	3,726 円 (1.59%)	884 円
300人以上	31 組合	31,040 名	5,508 円 (1.98%)	5,826 円 (2.08%)	▲318 円
計	147 組合	42,734 名	5,271 円 (2.00%)	5,244 円 (1.95%)	27 円

◎要求・回答・妥結情報を石狩地域 2022 春季生活闘争闘争委員会までお知らせください。
担当：光崎・田中（TEL：011-210-1212 FAX：011-210-1213）